

市議会 3月定例会

63年度当初予算案など 61議案を可決

市議会三月定例会が、三月七日から二十四日までの十八日間にわたって開かれました。今定例会では「六十三年度当初予算案」「大館市部設置条例案」など六十二議案を提出。慎重な審議が行われた結果、「大館市個人情報保護条例案」をのぞいて、いずれも原案どおり可決されました。このほか、十二月定例会に提出されていた「六十一年度各会計決算案」が承認され閉会しました。



63年度一般会計予算 百五十五億五千万円

一般会計、特別会計、企業会計の六十二年度補正予算および六十三年度の当初予算が可決されました。なお、六十三年度当初予算については、三面、四面をご覧ください。

62年度の 一般会計補正予算

一般会計の歳入、歳出にそれぞれ五億三千五百八十四万四千円を追加して、六十二年度の最終予算総額は百五十八億六千七百七十一万九千円となりました。

歳入の主なものは、地方交付税が一番多くて五億六千五百万円、次いで市債、財産収入の順となっています。なお、繰入金や国庫支出金などが減額となっています。

歳出で主なものは、財政調整基金へ三億八千五百万円を積み立て、市立総合病院への負担金一億六千九百万円、公営企業へ

部設置条例案など

市役所機構関連案可決

の助成費一億三千六百万円などで、このほか年度末の計数整理による予算を減額しました。

今定例会には、機構改革関連の「部設置条例案」「出張所設置条例の一部を改正する条例案」「職員定数条例の一部を改正する条例案」など五件が提出され、可決されました。これにより、

市役所業務を円滑に進めるため総務部、市民部、産業部、建設部の四部が設置されることになりました。現在二十四課五十八係から四部二十一課五十一係五担当となります。また、市役所職員定数が、現在千五十人から千四十四人と改められます。

暴力団追放を決議

今定例会に「暴力団追放に関する決議案」が提出され、可決されました。決議文は次のとおりです。

暴力のない平和で明るく住みよい街づくりは、大館市民すべての切なる願いである。

しかしながら、県内における暴力団は、警察の取り締まりや関係機関、団体の努力にもかかわらず、依然として、勢力の拡大や資金源を求めて、企業の経済活動に介入するなど、市民に大きな不安と脅威を与えているところである。

暴力団を追放するためには、警察の厳しい取り締まりと相まって、市民の一人ひとりが暴力団を反社会的集団と認識し、暴力追放の意識を高め、勇気をもって暴力団を温存させない社会環境の醸成に努めなければならない。よって本市議会は、ここに全市民とともに勇気をもって暴力と対決し総力を挙げて断固追放することを宣言する。

教育委員に

阿部達夫氏・浜田章氏

教育委員の月居泰氏と阿部達夫氏の任期が三月三十一日で満了するので、その後任人事案件が今定例会に提出され、阿部達夫氏（七十歳・八幡沢岱）、浜田章氏（六十二歳・阿仁町）が選任されました。